

わたしたちの学校の 環境についての活動を 紹介します！

～まつきたの自然を大切に～

我が校の環境教育の取り組み



松ヶ江北小学校の校区には、山、海、川などゆたかな自然があり、猿喰新田をはじめとして、美しい田畑が広がっています。

松ヶ江北小学校では、毎年、ボランティアの方に協力していただきながら、稲作体験や野菜づくりを行っています。



稲作体験

〈田植え〉

6月に全校児童で田植えをしました。はだしになって田んぼに入って苗を植えました。今年は天候の関係もあり田んぼがかなり柔らかく、足を取られる児童が多かったです。2学年ごとに田植えしましたが、どの学年も仲良く、みんなの歓声がひびいていました。



〈稲刈り〉

10月になり、今年もたくさん穂が実り、全校児童で稲刈りをしました。

米づくりボランティアの方に教えていただき、たくさんの地域の方々に助けていただきながら、児童達はカマを使って無事にお米を収穫することができました。



野菜づくり

学級園の畑やプランターだけでなく、学校近くの畑を借りて地域の方といっしょに松北ふれあい農園で野菜を作っています。地域の方々にいろいろなことを教えていただきながら、野菜づくりを通して、野菜をつくることの大変さや大切さだけでなく、環境を大切にすることを学んでいます。



クリーン作戦

松ヶ江北小学校の運動場などの草取りを行っています。
また、地域の貴重な文化遺産である猿喰新田の汐ぬき穴周辺の草取り活動にも参加しています。

〈松北クリーン大作戦〉

5月と9月に松北クリーン作戦を行っています。
保護者の方と一っしょに、運動場などの草取りやゴミ拾いをします。



〈汐ぬき穴清掃活動〉

地域の貴重な文化遺産である猿喰新田汐ぬき穴を保存し、後世に残そうと、毎年10月の中旬に汐ぬき穴周辺の草をかたり、ゴミを拾ったりしています。地域の方の他、松ヶ江北小学校や松ヶ江中学校の児童・生徒も清掃活動に参加しています。



総合的な学習の時間

「松北エコクッキング大作戦」

4年生は総合的な学習の時間の取り組みとして、「松北エコクッキング大作戦」の学習を行いました。



出会いの段階では、1学期に行った野菜作りを、自分たちの手でさらに追究していきました。学校校務員や地域の方に栽培方法を学びながら、自らの手で植え、世話をし、育てていきました。



追究する段階では、まず、栄養教諭から話を聞きました。給食の食材の皮や切れ端などがごみになっていることを知り、社会科で学習した、ごみの減量化に取り組もうという意識を持ちました。そして、ごみを減らすために、野菜を無駄なく使う方法について、栄養教諭の話を聞いたり、インターネットなどで調べたりしました。



そうしておいしく食べる方法を考え、実際に作って食べました。この活動を繰り返すことで、レシピを工夫したり、調理の技能を高めたりすることができました。試食を重ねるごとに、ごみにしなかったこと、おいしく食べたことを認め合い、もっとごみを出さずに上手に調理したいと、児童は「本気」になって学習に取り組みました。